

平成28年度
埼玉県多面的機能支援推進会議
優良事例表彰 活動組織の概要

1	上沼・下沼農地保全会（北本市）	1
2	竹間沢農地環境保全協議会（三芳町）	4
3	上福田地区農地・水・環境保全会（滑川町）	6
4	般若地域の環境を守る会（小鹿野町）	8
5	神川地域農地・水・環境保全管理協定（神川町） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
6	奈良広域協定（熊谷市）	12
7	酒巻農地環境協議会（行田市）	14
8	上内川活動組織（吉川市）	16

優良農地は我々の誇り

(組織名) 上沼・下沼農地保全会 (市町村) 北本市



1 地域の資源

田	畑	草地	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
38.31ha	0ha	1.37ha	12.1km	0.3km	0km	0箇所	0km

2 活動組織の構成員

- 農業者 65人
- 非農業者 70人
- 主な構成団体 上沼下沼土地改良組合、荒川占用耕作組合、北本石戸サッカースポーツ少年団

3 地域の様子と取組内容

- JR高崎線北本駅の西方3kmに位置し、荒川河川敷の水田区域で良質な米・麦を生産している。農業振興を図るために、農用地や農業用用水路を適切に管理している。
- 地域資源を適切に保全管理するため、点検に基づき、用水路及びパイプラインの破損部分の補修を行った。
- 高尾スポーツ広場を利用している北本石戸サッカー少年団と協力して、農村環境を保全する活動として水路等のゴミ拾いに取り組んだ。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
用水路及び揚水ポンプの 点検	活動計画の策定 地域住民と協力した農村 環境保全活動	畦畔や農用地法面の草刈 水路の草刈や泥上げ 水路の補修 地域住民と協力した農村 環境保全活動（ゴミ拾い）



(ポンプ場周辺の草刈り)



(農地・水路法面の草刈り)



(水路の点検)



(水路の泥上げ)



(ポンプ場の補修)



(石戸サッカー少年団とのゴミ拾い)

5 取組の効果及び今後の展望等

○老朽化が進む用水路（パイプライン）を計画的に補修することで、地域資源の適切な保全管理が行われている。

○農業者と非農業者とのゴミ拾いの共同活動により、農村環境を保全する活動の理解を深められた。

○今後も、草刈りや水路の泥上げ等の共同活動や、地域のゴミ拾い等の農村環境保全の活動により、優良農地を保全していく。

景観作物と自然環境保全による農村環境の向上

(組織名) 竹間沢農地環境保全協議会 (市町村) 三芳町

1 地域の資源

田	畑	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
0ha	33.5ha	0.8km	0km	0km	0箇所	0km



菜の花の花芽摘み取り



地元小学校とのホタル放流

2 活動組織の構成員

○竹間沢農家組合（農業者）、竹間沢第一区、竹間沢ホタル育成会

3 地域の様子と取組内容

(1) 地域の様子

武蔵野台地上にある本地域の農地は、火山灰土のため軽く、春先になると強い南風のため1m先が見えなくなるほど耕作土を巻き上げられてしまう。非農業者の住宅と農地が隣接しているため、地域住民より土埃の苦情が多く寄せられていた。また、全長約800mに及ぶ「こどもの川」は「竹間沢こぶしの里」の湧水を源流とし、昭和40年代まで町内唯一の水田を潤す用水として利用されており、かつては初夏に無数のホタルが飛び交う姿が見られたが、水田がなくなり時代の流れとともにホタルも姿を消してしまった。そのため、景観作物による農地の風食防止及び農地景観の形成、地域資源である湧水と開水路の維持・保全、ホタル生育環境に向けた改善を目指し、地域の農業者と非農業者が集まり竹間沢農地環境保全協議会を設立した。

(2) 取組内容

遊休農地の発生を防止し、平成19年度より実施している菜の花と麦の播種を行い、平成24年度からは見るだけでなく、花芽を自由に摘み取ることができるイベントを実施している。

また、ホタルの育成環境整備とホタルの放流による地域交流を実施している。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地等の発生状況や開水路の点検を行う。 ・機能診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度活動計画の策定 ・ホタル育成の自然環境維持計画 ・景観植物の播種と啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・開水路の清掃・泥上げ ・ホタル観賞会 ・景観作物の播種 ・農用地法面の草刈り

遊休農地を利用した菜の花と麦の播種では、「農作物の端境期にあたる3月末～4月上旬にかけて、まるで黄色い絨毯のような菜の花と緑色の麦の生育のコントラストが美しい。これら景観作物により土埃が軽減し、農村景観が良くなった」との声が本協議会に届いている。平成27年度の菜の花の播種面積は、19,047㎡、麦の播種面積は91,208㎡である。平成24年度からは見るだけでなく、菜の花の花芽を自由に摘みとることができる「菜の花の摘み取り」を実施し、春を舌でも感じてもらう取組が行われ、地域住民から大変好評を得ている。

本協議会と竹間沢ほたる育成会は歩調を合わせて活動しており、ホタルの育成環境を整えるため、毎年水源である「竹間沢こぶしの里」の清掃活動を行い、併せて開水路の点検・簡易な補修等を実施している。この地域の自然環境を後世に伝えるため、平成18年から地元町立竹間沢小学校4年生によるホタルの幼虫放流を行っている。5月下旬から6月上旬には、「竹間沢こぶしの里でほたるを見よう」と題し、都心から30km圏内にあり、野外で自由にホタル観賞できるということから毎年3,000人以上の人々が来場する。



菜の花の開花状況



開水路の維持・泥上げ

5 取組の効果及び今後の展望等

平成24年度から実施している「菜の花の摘み取り」では、平成25年度から地域の商工業者と連携したスタンプラリーを実施し、地域の滞在時間を延ばし、観光的にも貢献している。また、地元町立竹間沢小学校による幼虫放流は、同学校の「ふるさと竹間沢」授業の一環として行われるようになり、郷土学習の一助となっている。また、三芳町協働のまちづくりネットワーク（町住民団体）の地域サロン等に講師として呼ばれるなど、本協議会の取組に対し非農業者の関心を集めている。

今後は、地域農業の関心を高めるとともに、人・農地プランを作成し、地域全体で農地の維持・自然環境の保全を行っていく。

ため池の景観管理を通じた地域資源の保全

(組織名) 上福田地区農地・水・環境保全会 (市町村) 滑川町

1 地域の資源

田	畑	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
33.21ha	10.67ha	17.1km	11.1km	0km	16箇所	11.0km

2 活動組織の構成員

土地改良区、自治会、農家組合、水利組合、老人会、彩生会、小学校PTA

3 地域の様子と取組内容

本地域は滑川町の北部に位置し、農業が盛んな田畑地帯です。平成23年度に県営土地改良事業によりほ場整備が完了していますが、農業者の高齢化や人口減少などの問題により施設の維持管理が難しくなっているのが現状です。

そのため、平成19年度より農地・水・環境保全向上対策に取り組み、平成26年度からも引き続き多面的機能支援事業を実施し、施設の維持管理等に有効的に活用しています。

取組内容としては、農地やその周辺の草刈り、水路の補修や改修、泥上げなどを定期的に行っています。

また、ため池の堤体の景観維持、除草を目的として、防草シートを設置しヒメイワダレ草の植栽なども行っており、農地・農業用水等の保全管理と農村環境の保全に取り組んでいます。今年度までに、4か所のため池で植栽作業を行ってきました。これらの植栽活動は地域住民と共同で活動を行っています。さらに、地域の小学生と共にため池周辺の環境美化活動も行っています。

平成23年度からは施設の長寿命化のための活動にも取り組んでおり、土水路からコンクリート水路への更新や水路法面の補修を行い、施設の機能維持のために活動を実施しています。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	ため池や水路等の草刈り、水路の泥上げ、農道補修、小学生との環境美化活動、ため池の維持管理を目的とした植栽、水路の補修



草刈後の様子



排水路改修工事



ため池堤体での植栽作業



小学生とのため池周辺の環境美化活動

5 取組の効果及び今後の展望等

今後も引き続き、草刈りや泥上げなどの農地維持活動を行うとともに、地域住民とのため池堤体への植栽や、地域小学生とため池周辺の美化活動を行い、農業者と非農業者が協力しての地域資源の保全を図っていきたいと考えています。

農村環境の整備・保全による住みよい地域づくり

(組織名) 般若地域の環境を守る会 (市町村) 小鹿野町



1 地域の資源

田	畑	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
5.37ha	3.93ha	1.5km	2.0km	0km	0箇所	2.7km

2 活動組織の構成員

般若用水組合、自治会（長若4区、長若5区、長若6区）、長若第2老人クラブ、町立長若小学校、長若自然休養村連絡協議会

3 地域の様子と取組内容

本地域は、中山間地域に位置しており、人口の減少や農業従事者の高齢化・兼業化に伴い、農用地・農業用施設の維持管理の低下が進行しつつある。また、近年は鳥獣被害が多発し、農業を取り巻く環境の悪化が懸念されている。

このような状況の中、地域住民に農用地や農業用施設を地域の重要な資源・財産であることを認識してもらうため、地域全体が参画する保全管理活動を計画、実施している。

この新たな地域活動の枠組みの構築により、住民一人ひとりの農村環境に対する意識向上を図り、地域資源の適切な保全活動を実施することで、住みよい地域づくりが進展することを目指している。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検、機能診断	機能診断に基づき、年度活動計画策定	施設の簡易補修、景観形成活動



農道路肩の草刈り作業



水路法面の草刈り作業



水路の泥上げ作業



花苗づくり

5 取組の効果及び今後の展望等

農業従事者を中心に実施していた草刈り・水路の泥上げ等の活動について、広く地域住民に参加を呼びかけ、新たな地域活動のひとつとして位置づけたことで、農用地・農業用施設の維持管理活動が活性化した。また、地域住民自らが作業に参加することにより、農用地や農業用施設に対する愛着が湧き、重要な地域資源であるとの認識が高まった。

さらに、活動を通じて地域全体での話し合いや顔合わせの機会が増えたことにより、地域コミュニティの活性化につながった。

地域一体となった農村環境を守る取組み

(組織名) 神川地域農地・水・環境保全管理協定 (市町村) 神川町

1 地域の資源

田	畑	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
76.7ha	200.4ha	0km	126.5km	46.5km	0箇所	80.3km



花の植栽作業



植栽後の様子

2 活動組織の構成員

○構成団体：自治会（12支部）、神川町土地改良区、子供会育成会 等

○構成員：1,565人

3 地域の様子と取組内容

(1) 地域の様子

本地域は、平成7年に土地改良事業が終了し、整備された基盤及び水利施設を活用した畑作が盛んな地域である。

(2) 取組内容

集落ごとに農業者及び地域住民による草刈り及び排水路の浚渫や耕作道路への砂利補充等の保全管理を行っている。また、保全管理のほか、景観形成の為に花の植栽活動も行っており、農村美化にも寄与している。さらに植竹支部では子供会や育成会と協力をし、地区内の水路において小学生を対象とした生き物調査を行うなど、「美しい農村を次世代でつないでいこう」を合言葉に取組みを行っている。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	草刈、水路の泥上げ、砂利敷き、花の植栽活動、生き物調査 等



草刈り作業



水路での生き物調査

5 取組の効果及び今後の展望等

当交付金の活用により、施設の保全管理はもちろん、地域内での農業者と地域住民との交流、そして年代でみても横のつながりだけでなく縦のつながりも広がっている。

また、一部の支部で特色のある植栽活動や生き物調査を行うことで、他の地域も検討するようになっており町全体でさらに活発になることも見込まれている。

今後も農村を守ることは地域住民全体の役割との考えをもとに活動していきたい。

地域住民の手で創る農村環境

(組織名) 奈良広域協定 (市町村) 熊谷市

1 地域の資源

田	畑	開水路	パイプライン	ため池	農道
261.64ha	23.51ha	66.7km	28.1km	0箇所	20.5km



(草刈り)



(満開のコスモス)

2 活動組織の構成員

上奈良自治会、中奈良自治会、下奈良自治会、大里用水土地改良区

3 地域の様子と取組内容

地域の様子

当地区は熊谷市のほぼ中央部に位置しており、昭和40年代に施行された構造改善事業（一次構）及び昭和59年から平成9年に施行された県営圃場整備事業にて整備されている水田地帯（一部畑含む）である。農業者の高齢化や農業用施設の老朽化により適切な維持管理が困難になってきていることもあり、本事業の取組を開始した。

取組内容

農業者を中心に農業用施設の草刈り、水路の泥上げ等の基礎活動を実施している。

また、点検・機能診断に基づき、水路の漏水防止のための目地詰補修や雑草対策のために水路法面への防草シート張り、農用地保全のため畦塗機を使用した畦畔の再構築作業等、農業用施設の保全のため多様な活動を実践している。施設の長寿命化のための活動にも取り組み、抜本的な対策を要する施設の補修、更新を実施している。

農村環境保全活動では、数年前から地区の女性を中心に休耕地でコスモスの植栽を実施し、農村の良好な景観を形成している。平成27年度には、保育園、小学校の通学路に隣接する農地に向日葵を植栽。また、保育士協力の基、マリーゴールドの植栽も実施した。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設の点検・機能診断	年度活動計画の策定	草刈、泥上げ 景観形成のための施設への植栽 施設の補修・更新



(水路の泥上げ)



(水路法面の防草シート)



(畦畔の再構築)



(向日葵を摘みとる子供たち)

5 取組の効果及び今後の展望等

本事業に取組む以前は各農家が個人で草刈り等を実施しており、限界があったが、本事業に取組むことで地域が一体となり、農村環境を保全することが可能となった。通学路に接する部分の草刈りや側溝の泥上げには非農家の協力を得ることができるようになった。また、平成27年度に植栽した向日葵は、隣接する保育園の園児、小学生が花を摘み取り、大変好評であった。

当地区は市内で最も対象面積の大きい活動組織であり、活動についても最初期から実施している。市内外の活動組織から活動等についての問い合わせがあった。

今後も農村環境保全のため、農業用施設の保安全管理に努める。

地域一体で綺麗な農村環境を創る

(組織名) 酒巻農地環境協議会 (市町村) 行田市

1 地域の資源

田	畑	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
29.4ha	0ha	0km	10.0km	7.8km	0箇所	6.4km



2 活動組織の構成員

酒巻土地改良区
酒巻上農家組合
酒巻下農家組合
酒巻上自治会
酒巻下自治会
酒巻育成会（子供会）

3 地域の様子と取組内容

当地域は、行田市の北部に位置し、利根川に隣接する水田地帯であります。

昭和43年から44年にかけてほ場整備を実施し、当時設立された土地改良区が現在も水利管理をしていることから、活動の理解と協力が得られております。

農業従事者の減少等により、農道や水路の維持管理が困難になりつつあります。この解消のため、交付金を利用し地域の共同活動により維持管理、環境保全活動を実施しております。

4 主な活動内容

準備・点検	計画・啓発	実践活動
施設点検活動 機能診断	年度計画の策定	①施設等の定期的な草刈り、泥上げ ②施設等の軽微な補修 ③景観形成の為のイワダレソウ植栽 ④生態系保全の為の生き物調査



①農道の草刈り



②農道の軽微な補修



③イワダレソウ植栽



④生き物調査

5 取組の効果及び今後の展望等

自治会や子供会と地域一体で活動することによって、非農業者と農業者が身近に接する機会が増え、非農業者にも農業の大切さを知ってもらうことができます。

また、子供達が環境保全活動をすることにより、次世代を担う子供達の農業に対する関心を高めることができていると感じております。

今後も、農業施設等の維持管理、環境保全活動に地域一体となって取り組んでいく予定です。

地域住民と連携した保全活動

(組織名) 上内川活動組織 (市町村) 吉川市

1 地域の資源

田	畑	用水路	パイプライン	排水路	ため池	農道
10ha	0ha	7.3km	0km	0km	0箇所	3.0km

2 活動組織の構成員

松高自治会・農事組合、上金杉自治会・農事組合、上新堀自治会、中村下新堀自治会、船渡内自治会、上内川第一農事組合、上内川第二農事組合 等
構成人数28人（うち農家19人）

3 地域の様子と取組内容

本地域は、吉川市の北部に位置する田園地帯で、稲作を主体とする農業生産活動に積極的な地域である。また、地域内には市営の市民農園もあり、地域の農家で構成された組合組織により運営され、利用者には市街地の方が多く、吉川市の特産である花しょうぶが観賞用に栽培されるなど、農家以外の方との交流活動も盛んな地域である。

地域内には、美しい農村景観を代表する二郷半領用水路の他に、用水を分水する円筒状の分水施設を基点とする新用水路や中用水路があり、その沿線を中心とした大字上内川地区について、環境保全及び地域の活性化を図るべく当活動を行っている。

4 主な活動内容（平成27年度）

準備・点検	計画・啓発	実践活動
・施設及び農用地の点検・ 機能診断	・地域住民と連携しての美 化・啓発活動	施設の管理・草刈り



地域の草刈り



地域の美化活動



長寿命化活動

5 取組の効果及び今後の展望等

地域内に市民農園があることから、本地域住民の農業への関心度は他地区と比べて高く、今後当地域は農業を通して、更に地域交流が活性化されることが予想される。

今後においても、地域住民への啓発活動を積極的に行っていくなど、地域一体となって農業へ取り組んでいく。